

「算数個別（小5N・小6N）」について

今回は中学受験科「飛鳥」主任の池田による「算数個別」のご案内を掲載いたします。「算数個別」は4月にスタートする小5N、小6N が対象の選択講座です。本来なら飛鳥生のご家庭にお届けする文章ですが、池田が述べている受験勉強への葛藤と向き合い方は高校受験科の保護者様にもお伝えしたい内容になっています。受験が大きく変わりつつあるなか、「学び」はどう変わっていくべきなのか。ご一読いただけますと幸いです。（塾長：菅野）



新年度説明会でご案内した「算数個別」について、改めて私たちの想いと狙いをお伝えしたいと思います。中学受験のカギと言われる算数について、飛鳥では様々なアプローチで指導して参りました。一人ひとりの質問に対応するための「個別演習」、基礎基本を仕上げるための「算数トライアル」、難関校へのチャレンジに不可欠な「算数チェック」など、飛鳥オリジナル教材を充実させたのもこの 10 年のこと。問題演習量は増加の一途を辿り、とにかく量の勉強で偏差値を越えた受験を目指したのです。予想以上の成果が出るようになったのも演習量の増加と一致しています。テキストの宿題が解き進めない生徒でも中学受験の道を諦めてほしくない。その一心で何度でも同じ質問に付き合う山崎の指導が飛鳥スタイルを形作りました。

首都圏模試での成果は、努力で必ず前に進んでいけることを示してくれました。その手ごたえは何より、子ども達自身に表れていきます。6 年生になってドンドン解ける問題が増えるとともに勉強量も増加。中学受験生なのに楽しそうに勉強してくれる受験生の姿は親御さんが不思議がるほどです。解ける喜びを与えられることがどれだけ嬉しいことか。私たち講師にとっても 6 年生の成長ぶりこそが飛鳥の勉強を信頼たるものにしてくれました。

ただ、そんな日々の指導で心苦しさを覚えることもありました。なんとか問題を解こうと頑張る子ども達に効率を最優先にして教えているからです。子ども達の本気に応えるためにも力をつけさせたい。もっと解けるようにしてあげたい。しかし、そのためには理解よりも解き方を身に付けさせることが先決です。言われた通りに式に当てはめることで正解を導ける生徒もいれば、何かに引っかかることで横道にそれてしまい最短距離では答えを出せない生徒もいます。その引っかかりこそ、本来勉強では大切にすべきことなのですが。（P8 へ）



ウイング (小 2 & 小 3)



●「テストの受け方と質問する姿勢」

今年度最後のコンクールを実施しました。低学年の段階で事前にしっかり準備をしてテストに臨む経験はなかなかないものです。入塾間もないころはコンクール練習の量と難易度に苦勞していた子も、今では当たり前のように満点目指して努力ができるようになりました。また「わからない」で終わらせずに一生懸命に理解しようと自ら質問する姿勢も身につけてきたと感じます。小 3 生の 3 人は 4 月からヘリオス小学部に進級です。ウイングで身につけた勉強の土台を次のステップでも活かしてくださいね。春期講習からはヘリオス小 4 の教室でお会いしましょう！（西村）



今年度最後のコンクール。
3/20 (月) に返却します。



今月の本棚 ~Monthly Book List~



『47 都道府県ニッポン学び旅 200』

梅澤 真一／監修 朝日新聞出版／編著 (朝日新聞出版 1,430 円)

～内容紹介 (出版社 Web より)～

日本国内の約 200 スポットを国語、社会、理科、美術など学科別にセレクト。単なる見るだけの観光ではない、何をどのような視点で楽しむことができるか名所・施設の奥ゆきを「学旅 POINT」としてわかりやすく紹介。夏休みの計画や自由課題にも使える一冊！

子どもの好奇心を育む体験をたくさんやらせたい我が家にとって、バイブルとなる一冊を見つけました。タイトルにある「学び旅」という言葉も良いですね。

この本では寺社仏閣から世界遺産、博物館にミュージアムと多くの学びスポットが紹介されています。どのページも魅力満点。行ったことのある場所や気になるスポットなど読んでいだけでワクワクします。意外と都内にもまだまだ知られていない学びスポットがたくさんあるのも発見でした。

どこに子どもを連れて行こうかと考えながら読んでいたのですが、私自身が「行きた

い！」と思ってしまう場所がいくつも見つかってしまいます。これは長男との話し合いが必要です (笑)

私が気になったベスト 3 は次の通り。

- ・ 3 位：神秘的な佇まいに心惹かれる「宮崎県：高千穂神社」
- ・ 2 位…現代アートで有名な「石川県：金沢 21 世紀美術館」。
- ・ 1 位…子どもも大喜び間違いなし！の「福井県立恐竜博物館」

どこも遠いのですが、機会があればぜひ訪れたいですね。今年はいくつの学び旅ができるか楽しみです。(池田)

中学受験コース：飛鳥（小3～小6）



▼新3年生 「授業の様子」

算数、国語では単元の解説を聞いた後、どんどん問題を解いています。国語は文章題にチャレンジ。算数はまだ計算の単元ですので1回の授業で10ページ以上進むこともあります。みんな意欲満点です。楽しそうに勉強していますが集中力も合格。ご家庭の様子とは違う子もいるかもしれません。この年齢から知的好奇心を刺激して前向きな勉強姿勢を身につけるのは理想的です。勉強の面白さや知識を身につける満足感を味わうことの繰り返しが学習習慣の土台を作り、努力できる子を育てていきます。（池田）

▼新4年生 「宿題について」

授業で習った内容を理解するためには何倍もの類題を解いて定着させなければなりません。そのために宿題を出していますが、特に算数でやってしまいがちなのが「できない問題」にこだわり過ぎてしまうこと。定着の段階では「なんとか自分で解けるレベルの類題」をたくさん解くことが効果的です。それに前向きな気持ちで勉強に向き合う子ほど学習量も増えていくもの。解ける喜びをたくさん味わうことで自学自習にもつながります。家庭学習が上手く進まない場合は、分からない問題は飛ばして解ける問題をたくさん解きましょう。同じページを2周するのも効果的です。家庭学習でお困りでしたらいつでもご相談下さい。（池田）



▼新5年生 「定例テストの目標点」

新学年が始まり、週4日の通塾になりました。1週間が「解説授業→宿題→演習授業→宿題→演習授業→宿題→」ジム→定例テスト」という勉強中心の生活サイクルになります。ここから1年で受験の出題内容のほぼすべてを勉強していきます。毎週行われる定例テストでは目標点を掲げて、それに向かって勉強していきましょう。「80点以上を絶対にとるぞ！」という強い気持ちで勉強に取り組むのと、「どうせ無理だ」という気持ちでは、1年後に天地の差が出ます。自ら課した目標点をクリアできるように日々努力していきましょう。努力は必ず結果として現れます。算数トライアルもどんどん解いていきましょう。（山崎）

▼新6年生 「国語の学習について」

国語の入試問題において、言葉の知識を問う学校は少数派です。とはいえ言葉の知識量は読解力に大きく影響します。多くの言葉を知っている方が有利なのは間違いありません。そして言葉は使ってこそ身につくものですから問題演習だけではなく、短文作りなど様々な形で学んでいきます。また言葉の知識量のほかに読解において重要になるのが要約の力。要約の力は文章全体の内容を把握することにつながります。今月は徹底的に要約の指導をしました。これからは常に要約を意識して線引きをしながら読んでもらいます。毎週土曜の定例テストは入試問題ですからスピードも大事。授業で覚えた「要約ルール」を使って早く正確に読む力を磨いていきます。（池田）

高校受験コース：ヘリオス小学部（小4～小6）



1. コンクール（小5・小6）

■日程…3/15（水）

コンクールは覚えるものが中心の塾内テストです。今回は学年の総まとめとなる出題です。小6は中学の学習内容が範囲となる教科もあります。次の学年に上がる前に苦手をなくすチャンスです。最後のコンクールも満点目指してがんばりましょう！



2. 春期講習スタート（新小4～新小6）

■日程…3/26（日）～4/3（月）

春期講習では算国は前学年の復習、理社は新学年の予習が中心です。新小5、新小6については講習明けの4/7（金）に新学年となって初めての学力テストを実施します。スタートダッシュが決められるように、レベルアップを図りましょう。



岸のはなまるレポート ～小5L編～

今月は小5Lクラスについてお届けします。

4月から6年生に進級します。中学進学時に最高のスタートをきることを目標に頑張っているヘリオス小学部にとって大切な一年になります。例えば算数は6年の単元を11月までに終了し、年度終盤は中学準備として総復習に力を注いでいきます。

5年生を振り返ると、週に2回の通塾を前向きにとらえ、「勉強しに来ている」という姿勢で授業を受けている姿が印象的でした。特に算数ドリルやコンクールの取り組みは大変すばらしく、成績優秀者のページに多くの子が名前を載せています。

さて、「中学生になっても通用する勉強の心構え」をこれまで折に触れて伝えてきました。

- ・テストの前には万全な準備をすること
- ・間違い直しを優先し、ためこまないこと
- ・宿題はごまかさずにきちんとやること など。

この意識の差が大きな成果の違いとなって現れるのが中学校の勉強です。5Lクラスの生徒たちはすでにこれらを理解していると感じますが、納得できる理由は時期によっても変わるもの。6年生になるこの時期だからこそ心に残るような表現と、知ってもらいたい現実を交えて伝えていきます。（岸）



今月の宿題：達成状況優秀者

備
年



今月の単語テスト&漢字テスト：合格率優秀者

2023 年度 ヘリオス中学部 高校受験合格校（在籍生徒数 17 名）

▼公立高校

横浜緑ヶ丘 新城 住吉（2 名）

岸根 百合丘

▼私立高校

明治学院（2 名） 青稜 日大日吉〔特進〕

桐蔭〔アドバンス〕（2 名） 國學院

東京農業大学第一 日大日吉〔総合進学〕（2 名）

横浜創英〔特進〕（2 名） 駒澤

多摩大目黒〔特進〕 東京

麻布大附属 立正〔進学〕

日本工大駒場〔総合進学〕 横浜清風



合格おめでとうございます！

そして長きにわたる高校入試お疲れさまでした。

中学入学時からコロナに翻弄された中学校生活。

数多くの不安の中で一人ひとりとたくさん話して、たくさん教えての 3 年間でした。

私自身も初めての経験だったオンライン授業では、

画面ごしのみなさんの姿に励まされもしました。

入試後、「ゴールはまだ先」と話したときの真剣なうなずきが鮮明に残っています。

勉強のことや進路のことに真剣に向き合い、

挑戦し続けたという経験を得て 4 月から新たなスタートです。

陽光で学んだことが今後の人生の糧になってくれることを願っています。

これからも頑張ってくださいね。（岸）

＼ 保護者様からこんなお声をいただきました！／

生徒数を少なめに抑えて一人ひとりをよく見てくださるので大変ありがたいです。うちは子ども 3 人ともお世話になっておりますが、どの子どもそうした場所であるからこそ、気を張りすぎる事もなくやって来れたのだと思います。私自身も月謝をお支払いに行くたびにすぐに岸先生が来てくださり、子ども達の事を色々と話してくださるので、とても心強く、ありがたかったです。2 人目の高校受験もようやく終わり、あと 1 人。陽光学院さんであれば大丈夫と、安心しております。まだこれからも、どうぞよろしくお願いいたします。(横浜創英高校合格：男子生徒のお母様)

入試が終わるまで長い道のりでしたが、子供は最後まで努力してやり遂げたと思います。子供の気持ちに寄り添い、やる気にいつでも全力で応えてくださった先生方に心から感謝しております。定期テストなどで嬉しい結果が出た時、学校帰りに真っ先に報告に行くと一緒に喜んでくださったこと。度々急にお電話しても快く自習室を開けてくださったこと。たくさんの分からない問題に付箋を貼って持って行くと全て解説してくださったこと…数え切れないほど思い起こされます。信頼できる先生に出会い陽光学院で学んだ日々は、子供のこれからの人生の糧となると思います。本当にありがとうございました。(日本大学高等学校合格：男子生徒のお母様)

小五からお世話になって、果たしていける高校があるのかさえ思っていました、塾長先生、岸先生、他の先生方に熱心にご指導していただいたおかげです。入試前の細かなサポートも本人には心強かったと思います。

3 番目の子供であり、思春期男子という事で、余計な口出しをせずに、とにかく塾に行ってくれれば。と思っていました。途中イヤイヤ期がありつつも、少しずつ実力がついてきて、変わっていく様子が見れて、本当にありがたく、安心しておまかせしていました。また何かの時は相談に乗っていただけるとありがたいです。本当にありがとうございました！！(岸根高校合格：男子生徒のお母様)

入試情報 (高校)



2023 年度 (R5 年度) 神奈川公立入試：概評 by 岸

■英語：定期テストで文法の習得を図ろう

問題構成に変化がなかったこと、読解問題の語数が 100 語近く減ったこと、英作文の誘導が易しかったことなど、全体的に点数が取りやすかった印象です。ただ、その恩恵を受けるには確かな文法力が必要。頻出事項だけパツと丸暗記するような勉強では時間を取られるのに理解から遠ざかり、非効率となります。いかに普段から英文法の問題を見る「目」を養えているかが大切です。定期テストのたびに大量の問題を解いて鍛えるのは、入試のためと思って欠かさず努力すべきです。直前というよりも「いま」のテストを大切に。

■国語：選択肢を消去しながら向き合う「論理力」

全体的に解きやすく、陽光生は模試や予想問題よりも本番の点数が高いという生徒が多数いました。国語の文章問題については感覚で解いてしまう子が少なくありません。しかし実際は、本文と異なる主張を見つけ出したり、書かれていない主張を暴いたり…他教科と同じく論理的な思考を必要とします。日常的な読書は解を探索するための周辺知識や語彙力の強化へとつながりますが、論理力は問題演習量を増やすしかありません。陽光生も「たくさん解きまくるぞ！」の気持ちで立ち向かってほしいです。

■数学：解ける問題を増やす&絶対に落とさない！

解ける問題は解きやすく、解きにくい問題は一層解きにくくなりました。予想問題と比べると難問が多くありましたが、お帰りを継続してきた陽光生にとっては「解ける問題」が多かったかと思います。難化が当たり前となってきた数学。到達すべき学習ラインは高いです。受験学年に努力を先送りするのではなく今できることを。まずは基本の完成から。定期テストでは必ず目標点を立てて、達成可否かを自己分析→反省→改善をくり返しましょう。

■理科：積み重ねた問題数に勝る努力なし

「本番で『この問題は初めて見た』という事態にならないよう、何百問という問題を解いて準備することを対策というんだ。」陽光生には何度も伝えてきた言葉です。実際に陽光生の理科の点数はさほど削られることなく、地道に問題量を積み重ねれば対処可能であることを証明しています。目の前の 1 点を取ることの大切さを早めに自覚し、早くから入試対策に動き出すと直前で焦らない入試になります。

■社会：未来の自分に丸投げせずに今から復習を始めよう。

ここ数年、県全体の平均が高くなっている社会。今年は選択肢の数が多い出題や資料の読み取り問題に歯ごたえのある出題がなされ、やや難化といった印象です。中 3 生になって公民の勉強を進めつつ、地歴の暗記徹底を行うことが成功のポイント。これを後回しにすると直前期の勉強時間を社会に集中せざるを得ない状況に。結果、他教科の勉強にも悪影響をおよぼします。他分野との融合が起こりにくい社会の復習は 1・2 年生にもおすすめです。

「算数個別 (小 5N・小 6N)」について ※P1 より続き

中学受験という大人が解けない問題を解かせる世界で、もっと子どもの考えるスピードに合わせて指導したい。余計なことを考えさせず公式に当てはめて正解を出す指導から、一步踏み込んで絡み合った思考の糸と一緒に解いてから正解への道を示したい。もっと考える余地を残してあげたい。そんな思いがあります。子どものペースに寄り添って、何を間違えたのか、どうして違うのか、それに一緒に付き合っただけの指導は何を生み出すのか。「算数個別」が生まれた原点、それは一人ひとりの子どもを尊重してあげたいという思いからです。

与えられた解法を鵜呑みにする前に自分で噛み砕いて咀嚼して考えようとする。ガウス方程式は自分で考えた後に、解法の鮮やかさに子ども達は目を輝かせるのです。考える時間を待つだけあげるべきなんです。子どもの声を聞いてあげる指導から生み出したいのは、学ぶ喜びそのものです。これから中学受験を終えて、次のステージに飛び立つとき、なにより大切なことは自分の考えで前に進むこと。親も、私たち講師も、もう手を離す準備をしないといけないタイミングです。自分で考えて歩いていける子になるように。

子ども達一人ひとりの考えを大事にしながら、考えをカタチにする手伝いをしていきます。「算数個別」でやろうとしていることは中学受験という枠を越えた指導ですので、平常クラスとは分けて選択制をとらせていただきました。ただ、1 年間という時間があれば十分に子ども達の中学受験に還元されるだけのメリットがあるとも考えています。思考を育てる時間、「算数個別」の始まりです。(池田)

▼算数個別：概要

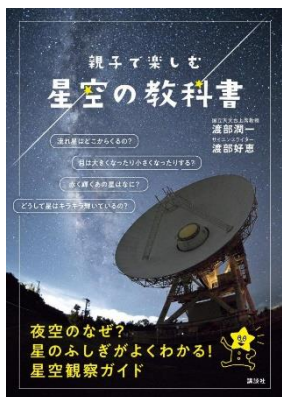
- ・対象 飛鳥の小 5 生、小 6 生
- ・曜日 小 5 生…月曜日、小 6 生…金曜日
- ・時間 19：30～21：00 (要お弁当)
- ・費用 23,000 円 (月額)
- ・担当 池田、山崎、菱沼
- ・募集開始 3 月末



※現在、4 月スタートに向けて最後の詰めを行っております。

ご質問やご相談がございましたらお気軽にご連絡ください。

世界を広げるブックリスト ～陽光ライブラリー新着本～



『親子で楽しむ星空の教科書』

波部潤一・波部好恵／著

読むだけでなく見ても楽しめるように美しい星空写真とともに、宇宙の仕組みをイラストと図版で紹介。帰りの道で、ベランダで、あるいは旅先やキャンプ場で、ふと夜空を見上げたときのワクワクが倍増する星空観測の入門書。

『ラフカは静かに弓を持つ』

安壇美緒／著

音楽教室への潜入調査を命じられた橘。目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠をつかむこと。橘は身分を偽り、チェロ講師・浅葉のもとに通い始める。想像を超えた感動へ読者を誘う、心震える“スパイ×音楽”小説！

『小学生のミカタ：ひらめき！』

プログラミングワールド

プログラミングが楽しくなる、笑って学べる学習マンガ。「何でも話せる友だちがほしい！」「もっとほめられたい！」「空を飛んでみたい！」「みんなの夢をかなえるのは、魔法じゃなくてプログラミングかも!?

『鴻上尚史のなにがなんでもほがらか人生相談』

鴻上 尚史／著

「ステキな回答」「神回答!」と大好評の書籍化第4弾!「母親の呪縛から逃れられない」「部屋を片付けられない」「息子の学歴を恥ずかしく思ってしまう」など尽きない投稿者の悩みに、鴻上尚史さんが真正面から答えます!

『すこしずるいパズル』

たつなみ／著

すこしずるい…でもスッキリ! 直感を裏切る「ずるさ」が醍醐味のパズル本。今話題の新感覚パズル&クイズ50問を掲載。癒やしのイラストとともに、驚きとひらめきの時間を楽しもう!

『メゲるときも、すこやかなるときも』

堀川アサコ／著

緊急事態宣言の発令日、夫のユキオが失踪する。乃亜は職場の食堂を訪ねる手がかりなし。占いでは「すでにこの世の人ではない」と言われ、乃亜は食堂の立て直しを図る。普通の人々の普通の暮らしが愛おしくなる小説。

ヒューマンキッズサイエンス：ロボット教室（小学生）



2 月のベーシックは「ジャンピングトビー」を製作。ギヤの回転からゴムの復元力を生み出して、真ん中のタイヤがシーソーの原理で回転。重りの落下する力は補助として働きます。ロボット製作を通して力の働きを学びます。

ミドルは「バシャリン」。重さのある電池ボックスとモーターの取り付け位置はロボット作りのポイント。実際のもの作りと同様です。今

回は車部分に付けたモーターの動力がシャフトを使って馬部分に伝わります。馬の脚、首、御者の手綱捌きの三ヶ所が同時に動くことでリアルな馬車の完成です。

アドバンスは「メクリン」前半。平面図と立面図を組み合わせて考える難易度の高さをアドバンスの生徒はチャレンジ精神で楽しんでいます。（池田）

3 月製作ロボット紹介

▼ベーシック…ゲームマスター「シャッフルくん」



2 種類のロボットを製作します。前半はゴムの力を利用してサイコロを振るロボット。うでを振る仕組みに注目です。後半はタイヤの摩擦でトランプを切るロボット。トランプを交互に送り出すために摩擦が重要なポイントです。

▼ミドル…たたいて守って「メカポンロボ」



自分の頭を守りながら相手の頭をハンマーでたたく対戦型ゲームができるロボットです。プログラミングでは相手の攻撃に応じて反撃するロボットに改造し、コンピュータとの対戦を楽しみます。

▼アドバンス…読書支援ロボット「メクリン」(後半)



2 種類のページめくりロボットを製作します。後半である 3 月はロボットがうまくページをめくれるようチューニングしながら、2 種類のロボットの動き方や、その利点と欠点を比較します。

■作品紹介（2 月）



ベーシックコース
「ダイナミックな動き」



ミドルコース
「かわいらしい世界観」



アドバンスコース
「図面から組み立てるには集中力が大切」

◆授業スケジュール（3 月～4 月）

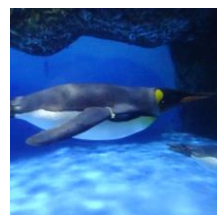
・R1(10:40～)	3/11(土)、25(土)	4/8(土)、22(土)
・R2(14:40～)	3/11(土)、25(土)	4/8(土)、22(土)
・R3(10:40～)	3/4(土)、18(土)	4/8(土)、15(土)
・R4(16:20～)	3/2(木)、16(木)	4/11(火)、25(火)
・R5(16:20～)	3/7(火)、14(火)	4/4(火)、18(火)

※4 月より新年度の時間割編成によって R4 クラスが「第1・第3木曜日」から「第2・第4火曜日」に変更となります。ご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。

スタッフ四方山（よもやま）話



4 月から小学生になる長女の希望で八景島シーパラダイスに行ってきました。昔からの動物好きでカメラの使い方も覚えた彼女を一日撮影係に任命。撮影の際はフラッシュをオフにしたり、周りのお客さんを気にして最前列に陣取るのを遠慮するような動きを見せたりと想定以上の成長を見せてくれてビックリ。ただペンギンやコツメカワウソのスピードについていけずにムキになるという、父親に似て負けず嫌いな一面も（笑） 動物とのふれあいイベントも徐々に復活していてうれしい限り。動物園・水族館の醍醐味を堪能すべく、これまで参加できなかったイベントをめぐる「動物園・水族館再訪問ツアー」を頑張ってみます！（岸）



長女曰く「いちばんがんばった写真」



沖縄の離島に 2 泊 3 日の弾丸旅行へ。12 月～6 月の快晴の日だけ見ることができる南十字星がお目当てでしたが、今回の旅では見ることはできず。またの機会にお願いします。

ただ、屋間の由布島では大変よい天気にも恵まれました。水牛車で海を渡るといって日本で唯一無二の体験ができるこの島には多くの熱帯植物があり、その生体を観察することができます。パイナップルやシークワサーなど、身近だけれどもなかなか木になっているところを見る機会がない果物が多く栽培されている素敵なスポットです。次回の南十字星チャレンジと兼ねてまた行きたいと思います。（西村）



牛に引かれて西表島から由布島へ



陽光ビルの外階段入り口には「定礎」と彫られた石のプレートがあります。そこには「竣工 1987 年」の文字が。ビルが建ってから今年で 36 年が経ちました。毎年、少しずつ手入れをしつつ、数年おきに外壁や外階段の修繕をしてきましたが、3 月半ばからは定期修繕以上の大規模工事を行います。

作業は駐輪場→外階段→教室の順に進めていきます。特に外階段は安全性を高めるために 5 階から 1 階まで長尺シートを貼り、外側の手すりを全て交換するという大掛かりなものです。午前中や日祝、GW を活用しますが、階段ではなくエレベーターでの移動となる日があるかもしれません。子ども達の安全最優先で作業を進めてまいりますのでご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。（菅野）



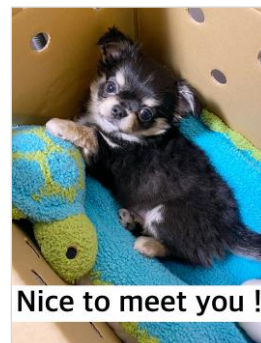
まずは駐輪場から。現場の作業は 5/13（土）までを予定しています。

知っている
得をする、かも。
今月の雑学
コレクション



- アラスカ州のタルキートナでは 20 年間、市長がネコだった
- 円周率暗唱の世界記録は 10 万桁
- 本屋でトイレに行きたくなる現象を「青木まりこ現象」という
この現象について雑誌に投稿した女性の名前がその由来

🐾 今月のワン！フレーズ



Nice to meet you !

訳：はじめまして！

◆編集後記：菅野家に新しい家族仲間入りしました。黒チワワの「コタロウ」です。まだ生後 3 ヶ月で遊びたい盛り。今朝は娘（5 歳）の靴下をくわえて逃げ回っていました。成長の様子は『今月のワン！フレーズ』にて。陽光通信の新メンバー、よろしくお願いします。（菅野）